

板書計画も含めてA4 3ページで作成して下さい。

各教科

第〇学年 〇〇科学習指導案

※英語科も日本語で記載

R2年度 那覇市様式

令和 年 月 日 () 校時 : ~
() 学校 年 組 名
指導者 ㊟

【年間指導計画 () 学年 () 月計画 P ()】

1 単元の概要

単元（題材）名・教材名		
目 標		参照 → 各教科等・各学年等の評価の観点等及びその趣旨
評価規 準	関心・意欲・態度	文末「～しようとしている。」等
	思考・判断・表現	文末「～考えたりしている。」等
	技 能	文末「～ができる」「～を身につけている」等
	知識・理解	文末「～理解している。」等

※移行期間中の学習評価の在り方については、現行学習指導要領の評価規準に基づく記述とする。

2 単元について

(1) 生徒観

- レディネステストの結果などから、今までの学習で身に付いている資質や能力、不十分な点について記述する。
- 単元で身に付けさせたい力に対する実態把握について記述する。
 - どこでどのようなつまずき（課題）があるかを分析し、指導観に記載する手立てと連動する。

(2) 教材観

- 単元目標と関連させ、本単元の学習課題を明確にして記述する。
- 学習指導要領との関連を示す。
 - 単元（題材）の学習内容と、そのねらいを記述する。
 - 適切な単元の構成内容であることを記述する。

(3) 指導観

- ねらい達成に向けて、どこで、どのような手立てをするのか、指導のポイントを記述する。
- (1) (2) の記述を踏まえ、子どもの不十分な点を補う手立てを具体的に記述する。
 - 目標に照らしてその実現状況を観点ごとにどのように評価するのかを記述する。

3 単元の指導計画

小単元	時	主 な 学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評価規準と評価方法
	1	生徒の課題を踏まえ、言語活動を通して、指導事項を指導することを明確にした単元づくりをする。		各時の学習内容 とみとる観点を記 載する。 【関】【思判表】 【技】【知理】
	2 本時			
	3			小単元については、教科によって『〇次』や「1 〇〇」と表し方が違います。指導計画作成の際には、確認の上、記載する。
	4			

板書計画も含めてA4 3ページで作成して下さい。

4 本時の学習指導について

(1) 本時の目標

- 1つか2つにしばっているか。
- 単元目標と合致しているか。

(2) 授業仮説

「〇〇〇において、場・内容の限定
〇〇〇すれば、投入条件
方法・手だて
〇〇〇になるであろう。」
身に付けさせたい力（資質・能力）
ねらい・めざす子ども

本時の授業のどこで、どのような指導の在り方や方法を提案しようとしているのか、学習指導要領を踏まえて簡潔にまとめる。

(3) 本時の展開（第〇時）

教材研究や授業展開に沿ってマイノートを活用し、検討する。

	学 習 活 動	指導上の留意点 ○教師の手立て □予想される生徒の反応	評価項目(方法)
導 入 (分	1 具体的な学習活動について、生徒の立場から記述する。	○下記の項目を参考にして適宜記載しましょう。 ・本時の目標を確認し、生徒に学習の見通しをもたせるような、「めあて」を児童生徒向けの言葉で提示する。 ・生徒の学習意欲を促すような資料、問題提示の工夫する。	どの観点でどのような方法で評価するのかを記載する。
	2 めあて		
展 開 (分	3 (1) 「授業仮説」につながる学習活動は分かりやすく表記する。（例：太字ゴシック体等）	○下記の項目を参考にして適宜記載しましょう。 ・予想される生徒の反応と、それに対応した教師の手立てを順序立てて記述する。 ・自分の考えを書く活動を取り入れる。 ・ペアやグループ、全体でかかわり合い、学び合う活動を取り入れる。 ・支援を要する生徒のつまずきとそれに対応した教師の支援方法を書く。	【思・判・表】 〈概ね満足〉 。 〈十分満足〉 (ノート記述) 単元の評価規準を具体化し、本時において1～2観点を評価する。
	(2)		
	(3)		
ま と め (分	4 まとめ		
	5 ○下記の項目を参考にして適宜記載しましょう。 ・「めあて」と正対した「まとめ」について記述する。今日の授業で「何を学んだか」を明確にする。生徒の言葉を生かしてまとめる。 ・本時の学習で分かったことやできるようになったこと、次の課題などについて、生徒に振り返らせる。		

板書計画も含めてA4 3ページで作成して下さい。

（４）板書計画（写真も可・項目だけでなく、実際に板書することを書く・ICT 機器の活用について）